

環境未来都市で、“街づくり”“超高齢化”に取り組む 総務省の公募に相次いで採択

総務省のICT成長戦略会議に関連する公募案件(社会実証)に、富山市ほかとインテックが提案した事業が相次いで採択されました。

“歩いて暮らせるまち”へ

「ICT街づくり推進事業」に採択されたのは「コンパクトシティを実現する“富山まちあるきICTコンシェルジュ事業”」。インテックは、富山市のほか、富山大学や富山地方鉄道などと産官学共同で取り組み、富山市の掲げる「歩いて暮らせるまちづくり」の実現を目指します。具体的には、サイネージやスマートフォンにまちあるきの情報を配信し、市街地の活性化を図ります。また、歩行者動態情報をビッグデータとして収集・分析することにより、将来のまちづくり計画に活用していきます。



6月20日、桜井俊情報通信国際戦略局長(現総務審議官)から採択通知書を受ける森雅志富山市長(左)

シニアがいきいき活躍できる社会へ

「ICT超高齢社会づくり推進事業」には、「いきいきシニア倍増計画inとやま」が採択されました。

インテックは、日経BP社や富山市の運営する角川介護予防センターなどと共同で企画をとりまとめ、富山市をフィールドにアクティブシニアを増加させるプランを提案しました。最新の血圧計や活動量計とインテックの提供するヘルスケアプラットフォーム(スーパー・フェニックス)を連携してデータを蓄積、高齢者へのパーソナルケアの充実に役立てます。また、まちあるきイベントで高齢者の社会参加や世代間交流を図ります。

両事業とも、今年度末までを実証期間として富山市で新たな取り組みが始まります。富山市は「環境未来都市」に選ばれ、人と地球環境に優しいまちづくりを進めています。インテックはICTを活用した都市の課題解決を目指し、先進事例にチャレンジしていきます。

●ICT街づくり推進事業：

防災・減災や複合的な地域課題(経済活性・雇用創出)の解決を目指し、先行モデルとして「ICTスマートタウン」を実現する。
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin01_02000099.html

●ICT超高齢社会づくり推進事業：

超高齢社会の到来を前提に、ICT活用により高齢者の健康増進活動や、自律的な社会参加を促す。
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu02_02000074.html

「MCFrame Partner of the Year 2013」9回目の受賞

インテックは、東洋ビジネスエンジニアリングより「MCFrame Partner of the Year 2013」を受賞しました。この賞は、年間を通して最も優秀なビジネスパートナーに贈られるもので、インテックはライセンスの売上、受注件数、海外導入を含めた総合評価においてNo.1と評価されました。

MCFrameは国産基幹業務パッケージの生産管理モジュールでトップクラスのシェアを誇り、2013年5月末時点で363社に導入されています。インテックはMCFrameを用いたSCMシステムを製造業向けに構築しており、すでに60社を超えるお客さまにご利用いただいています。近年は海外での事例も増えており、今後は国外拠点を含めたサ

ポート体制をさらに充実させていく方針です。



6月7日に開催されたMCFrameパートナー総会における授与式
東洋ビジネスエンジニアリングの石田壽典社長からトロフィーを受けるインテック社長の
滝澤光樹(左端)

システム監視ソリューション「MoonWalker」を仮想アプライアンス化 IBMのPureSystemsに対応

アイ・ユー・ケイとクラウド・スコープ・テクノロジーズは、クラウド・スコープ・テクノロジーズが開発した仮想化環境のシステム運用監視ソリューション「MoonWalker」を、日本IBMが提供する仮想アプライアンス環境に対応させました。名称は「MoonWalker for PureSystems」。

IBMの統合型システム「IBM PureFlex System」の管理ソフトと連携させて、他社製サーバを含む異機種システムをまとめて一元的に監視することができます。日本IBMの技術支援のもと、IBM PureSystems上で稼働できるよう設定や構成を最適化し確認を済ませており、

仮想化環境の運用監視を短時間で開始することができます。

PureSystemsはIBMのサーバ製品シリーズのひとつです。単なるハードウェアとしてではなく、専門家の知見をパターン化して実装し、統一的な管理画面から設定・運用することで、計画・導入・運用などの作業を簡素化することができます。「MoonWalker for PureSystems」はIBMの製品ラインナップの一つとして、サーバ管理の重要な役割を担うことになります。

MoonWalker

仮想環境をビジュアルに管理・監視するシステム。これまでよりも簡単に、低コストで運用監視を実現する。
<http://www.cloud-scope.com/moonwalker-for-puresystems.html>

お問い合わせ先▶ 株式会社アイ・ユー・ケイ TEL: 03-5348-7272 e-mail: info@iukinc.co.jp
 株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ TEL: 03-3403-8321 e-mail: pr@cloud-scope.com

美女平「天空ロード」を自転車で完走!

立山・黒部アルペンルートを自転車で駆け上がる「立山アルペンヒルクライム2013」が6月23日開催され、インテック行政システム開発部の窪木顕が標高977メートルの美女平から2,450メートルの室堂までのロングコース(22.3キロ、標高差1,473メートル)に挑み、97名中41着でゴールしました。

本大会はスポーツと自然・風土・景観を融合させた「スポーツツーリズム」の推進事業で、「美女平天空ロード」と愛称をつけられた立山有料道路で開催されました。大会にはインテックも協賛。全国から集まった参加者は絶景の「天空ロード」でレースを満喫しました。



インテック 行政システム開発部
 統括プロジェクトマネージャ
 くぼき あきら
窪木 顕

87年入社。入社以来一貫して行政システムに携わり、主に名古屋・富山で勤務。

6年半ぶりに富山に戻った私にとって立山連峰の存在感は圧倒的で、日に何度も目を奪われてしまいます。そこに舞い込んできた立山アルペンヒルクライムへのお誘い。趣味でやっているトライアスロンとは違い、標高3,000メートル級でのライドは未知の世界でしたが、記念すべき第1回大会でもあり、参加させていただきました。

大会当日は、朝2:30起床。ウォーミングアップ後、5:30スタートです。美女平の早朝は想像以上に静かで鳥のさえずりや雪解けの水音がはっきり聞こえます。静謐の中、走ることを純粋に楽しみました。

レースの第一関門(9.9キロ地点)をクリアした後は視界が広がり、素晴らしい景色がさらにレースを盛り上げてくれました。標高が高くなるにつれ酸素が薄くなり、冷たい空気で肺がおかしくなりそうでしたが、それも今回の大会の特徴と、耐え抜きました。ほかの参加者とも交流を深め、立山の魅力を再認識できた、思い出に残る大会となりました。

動態管理クラウドサービス「i-Lism」を用いて エコスの配車管理の実証実験を開始

インテックは、動態管理クラウドサービス「i-Lism(アイリズム)」とスマートデバイスを用いて、食品スーパーマーケット・チェーンを営むエコスの配車管理の実証実験を7月1日より約2か月間の予定で開始しました。

「i-Lism」は、車両や荷物など動くモノや人の位置・状況を取得し、地図上で一括して管理するもので、インテックが2012年11月より提供しているサービスです。

本実験では、各トラックにスマートデバイスを搭載して、GPSを通じて取得したトラックの移動情報を分析します。初期投資の少ないスマートデバイスを活用することで、エコスが管理する配送トラックの位置や状態を「見える化」し、到着時刻の予測の精度を向上させます。これにより、荷受作業の効率化や配送ルートの改善に役立っています。

「i-Lism」の地図情報にはGoogleマップを利用し、

Googleが提供するアプリケーションの新機能「Tracks API」を活用しています。Googleマップ上に直接トラックの動線を表示し、登録地点への接近を検知することができます。

インテック動態管理サービス「i-Lism(アイリズム)」

Googleマップ Tracks APIを利用したインタラクティブな動態管理機能を提供



お問い合わせ先▶ 株式会社インテック 流通ビジネス室 TEL: 03-5665-5053 e-Mail: i-lism_info@intec.co.jp

快速サーチャーLogReviに新機能 インストール不要でログ収集

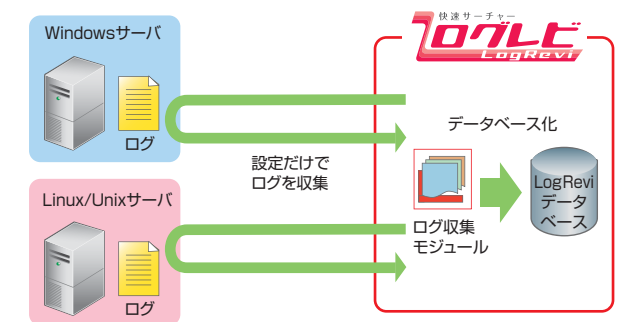
インテックはログの統合管理製品「快速サーチャーLogRevi(ログレビ)」に、専用プログラムをインストールすることなくログを収集できる「エージェントレス ログ収集機能」を追加し、9月30日より提供します。ログレビは企業内の様々なシステムのログを集約し、効率よく管理するシステムです。

ログを収集するには、対象サーバに専用プログラムをインストールする方法が一般的です。しかし、すでに稼働しているシステムに新たなプログラムをインストールすることによるリスクや対象サーバが多い場合に作業負荷やコストが増大するなどの課題がありました。

このため、インテックは専用プログラムをインストールすることなく、ログを容易かつ効率よく収集する新機能を開発しました。これによって、稼働中のサーバに対しても安心してログを収集することができます。また、対象サーバが多い場合や複数OSが混在する場合でも、お客様の作業負荷を軽減することができます。

●メリット

- 稼働中のサーバに対しても安心してログを収集できる。
- 1台ずつインストールする必要がなく、お客様の作業負荷が軽減できる。
- 複数OSが混在していても、OSごとに異なるログの収集方法を用いる必要がない。



「エージェントレス ログ収集機能」イメージ

お問い合わせ先▶ 株式会社インテック ビジネスプロダクトソリューション部 TEL:03-5665-5140 https://www.intec.co.jp/searcher_logrevi/inquire.html